

# カナリヤ通信



創刊号

「カナリヤ通信」では、さまざまな考え方をもちた女性が、社会の中で運しく、それでいて女性らしく声を出して、人生を楽しみながら働く姿を表現していきます。

～働き方について考え、気づく～

インデックス

第2号は12月9日です

## 環境・設備

男性社会は過去の話。いま企業は、女性を活用しようとハード面の充実を推進しています。しかしそこには温度差もありそうです。



〇〇しやすい職場はコミュニケーションから

シャワー室、実は男性にも好評

お互いに最低限のマナーを守ればOK

女性だからってそこまで気を遣わなくても

## ワークライフバランス

若い世代を中心に、夫婦がともに働くのが当たり前になってきました。しかし、比重の置き方や考え方は十人十色です。



共働きは普通の時代夫の稼ぎだけじゃ生活できない!

ワークとライフバランスは人それぞれ

専業主婦——妄想してはみたけれど

海外赴任も果敢にチャレンジ

## 育児と家庭

夫も育児と家事を担当するようになりまし。保育園に送り迎えしているお父さんをよく見かけます。



イクメン、イクボスみんなで育児

家事と育児と仕事3足のわらじは女性だけ?

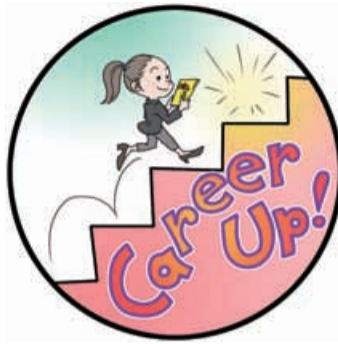
主夫もあり



育児取得は女性だけの権利ではありません

## キャリアアップ

仕事に対する意識は男女ともに変わらなくなっています。女性の方が優秀だ、という声も経営側から聞こえてきます。



キャリアアップに異動は必須?

年功序列は有利?不利?

仕事は同じなのに給料に差!?

出世したい女もいる出世したくない男もいる



男性偏重だったあの人が今や女性推進派!

## 不公平

脚光を浴びる「けんせつ小町」。企業も男性と対等に女性を起用するようになりました。一方で不公平感もあるようです。

女性らしいって何だ

女性同士の差別も存在

女性が勝手に壁をつくることもある

## 出産

出産は女性にしかできない事。しかし、仕事と両立させるためにはまだ大きなハードルが立ちまはっています。



身重の私、上司の采配で助けられた

出産後の職場復帰は当たり前!!

先輩が道を開拓、後に続け!

もしかして…「女性にとって働きやすい職場は、男性にとっても働きやすい職場」なのかもしれません



次回以降、各テーマについて深く掘り下げていきます。

男性の考えも伝えていくよ!



〈創刊に当たって—カナリヤ通信編集部より〉

女性活用が叫ばれる中、政府を始め企業や団体などではソフト・ハード両面で働きやすい職場づくりなどの施策を展開しています。しかし、今回の座談会で聞こえてきたのは、出産や育児などのハードルが大なり小なり存在しているということです。女性は、昔ながらの価値観に困惑しつつも、意志と誇りをもって仕事に従事しています。そして、組織の中で新たな文化を築こうと懸命に努力しています。

そこで「カナリヤ通信」では、女性であるが故の苦勞や悩みを男性にも理解してもらった上で、対等に働ける環境をつくるために今何をすべきなのかを一緒に考えていきます。また、どのようにキャリアアップに取り組むのか、結婚や出産、育児、介護など男女ともに迎える人生の節目をどのように捉え乗り越え、さらに一つの経験として自分のスキルに組み込んでいくのかについても深く掘り下げ、解決への糸口を模索していきます。また、男性の家事・育児や育児取得の促進、イクボス(男性の育児参加に理解のある経営者や上司)育成などが脚光を浴びていますが、男性自身は実際どのように考えているのかという本音にも迫っていきます。こういった一連の取材活動を通して、ともしれば男性が今まで知らなかった女性の考え方が支持され、職場で生かせるような紙面づくりを展開していきます。

連絡先はこちら

■お問い合わせ: 株式会社日刊建設通信新聞社  
カナリヤ通信編集部 03-3259-8711  
■ご意見・ご感想はcanaria@kensetsunews.comまでお寄せください

アンケートにご協力下さい!

テーマは「キャリアアップ」です

あなたが考えているキャリアアップについてお聞かせ下さい。  
アドレス=[http://www.kensetsunews.com/?page\\_id=55983](http://www.kensetsunews.com/?page_id=55983)

